



2026年6月22日

各 位

会社名 パ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役CEO 松 尾 孝 之
(コード番号：3840 東証スタンダード市場)
問合せ先 取 締 役 星 淳 行
TEL：03-6823-6664 (代表)

(開示事項の経過)

株式会社 RUTILEA との業務委託契約締結 (実務開始) に関するお知らせ

当社は、2025年12月8日付「株式会社 RUTILEA 及び株式会社ユニ・ロットとの3者間業務提携に関するお知らせ」において、系統用蓄電池やバイオマス発電等の分散型エネルギーリソース (DERs) を束ねるアグリゲーターサービス (以下「本事業」といいます。) の共同開発について公表いたしました。

公表以降、本事業の早期立ち上げおよびサービス展開に向け、提携先である株式会社 RUTILEA (以下「RUTILEA 社」といいます。) との間で、リソース・アグリゲーターとアグリゲーション・コーディネーターの連携体制構築に関する協議を続けてまいりましたが、この度当社から RUTILEA 社に対して委託する業務内容、委託期間等が定まりましたので、本日付で臨時取締役会を開催し、業務委託契約を締結することを承認可決いたしました。本業務委託契約の締結に基づき、協議の過程で先行して準備を進めておりました届出・申請業務および事業基盤構築等の実務を本格的に開始いたしましたので、その経過を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経過の背景および本契約の目的

当社は、2025年12月の3者提携以降、リソース・アグリゲーターとしての市場参入に向けた準備を順調に進めてまいりました。

今般、AI 技術およびエネルギーインフラの運用最適化において最先端の知見を有し、既に系統用蓄電所を多数運用している RUTILEA 社に対し、当社がリソース・アグリゲーターとしてアグリゲーション・コーディネーターである同社と連携して事業を推進するために必要な体制の構築支援業務を委託いたしました。

本契約の締結により、国内の電力需給調整市場への参入プロセスを迅速かつ確実に履行する体制が強固なものとなります。また、本契約には「当社が第三者より系統用蓄電所に関するアグリゲーション業務を受託すること」を視野に入れた実務構築が組み込まれております。これにより、株式会社ユニ・ロットが保有する再生可能エネルギーリソースの活用に留まらず、外部の蓄電所保有事業者等のリソースを幅広く巻き込んだ「オープンなアグリゲーション・プラットフォーム」の構築を加速させ、中長期的な収益基盤の拡大を目指してまいります。

また、当社は、本事業は当社のインベストメント事業およびサステナブル事業とのシナジー効果をはかりながら、中期的に収益の柱となる高成長ビジネスとして位置づけております。

2. 業務委託契約の概要

(1)	委 託 先	株式会社 RUTILEA (京都市中京区、代表取締役社長 矢野 貴文)
(2)	契 約 形 態	準委任契約
(3)	委 託 業 務 内 容	当社がリソース・アグリゲーターとして RUTILEA 社と連携するために必要となる、業務プロセスおよび運用体制の構築支援業務。具体的には、当社が「特定卸供給事業者」の届出、電力広域的運営推進機関 (OCCTO) や電力需給調整力取引所 (EPRX) への申請を行い、RUTILEA 社と連携できる体制を構築するにあたり、専門的な支援を同社が提供する。
(4)	業 務 実 施 期 間	2026 年 4 月 1 日から※1 2026 年 12 月 31 日まで

※1 協議段階から先行して行っておりました一部準備業務等を踏まえ、契約上の業務実施期間は、2026 年 4 月 1 日からとしております。

3. 本事業における具体的な進捗スケジュール (予定)

本契約に基づき、2026 年 12 月末までに 2 社間の連携体制の構築完了を目指します。

(1) フェーズ 1 (現在進行中) :

当社におけるリソース・アグリゲーター事業体制の構築

(2) フェーズ 2 :

アグリゲーション・コーディネーターである RUTILEA 社との本事業に係る連携体制の構築

(3) フェーズ 3 :

RUTILEA 社と連携のもと、第三者保有の系統用蓄電所を対象としたアグリゲーション事業の展開

4. 今後の見通し

本契約の締結および実務開始に伴う、当社の 2026 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微です。尚、「特定卸供給事業者」の届出を実施する際には、別途「新たな事業の開始」の開示を実施いたします。

また、今後の進捗により、開示すべき重要な事項が発生した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上